

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	最近、急激にご利用者の(車椅子になったり、嚙下状態が悪くなってきた等)重度化が進んでいる。今までは、お元気な状態で今後を予想しての話し合いはしていたが、重度化が現実になってきたので、現状を踏まえての話し合いが必要。	今までとは違うということをスタッフ全員がしっかりと認識し、今後のリスクを踏まえた対応をよく話し合い、重度化、終末期の対応、事故防止を実践していく。	今まではできていた部分が、重度化すると今後はリスクが高くなるので、どう対応すれば事故防止になるのか、ミーティング等でよく話し合い、スタッフ全員が把握する。ご家族ともよく話し合いながら今後について慎重に対応していく。	6ヶ月
2	4	運営推進会議に自治会の参加がない。	自治会の参加により、運営推進会議の活性化や非常災害時の協力を得ることができる。	民生委員の方が時々参加してくれているので、その方にもできたら協力してもらい、自治会の参加を依頼してみる。	3ヶ月
3	1	ホームに掲示している理念が覚えにくい。	誰もが一目で覚えられるような理念。	理念を簡潔な言葉に変更し、ホームに掲示する。話し合いの時には、すぐに理念を思い出し、理念に沿った支援を実践する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月